

(b) 主要な海草藻場、海藻群落の分布(藻場分布図作成)

マンタ調査、ライン調査及びスポット調査の結果に基づいて、海藻草類の被度が比較的高い範囲について、アマモ類をはじめとする大型の海草類により構成される藻場（海草藻場）と、ホンダワラ類をはじめとする大型の海藻類により構成される藻場（ホンダワラ藻場）に分けて整理した結果を、それぞれ図-6.15.1.17及び図-6.15.1.18に示します。

海草藻場は、リーフ内の比較的静穏な水域に分布し、辺野古地先、大浦湾奥部、安部の湾内、ギミ崎の東側において比較的被度が高い箇所がみられます。

ホンダワラ藻場は、波浪の影響が比較的大きなリーフ上やリーフ外縁に広く分布し、辺野古地先、大浦湾口部、安部～嘉陽地先に比較的被度が高い箇所がみられます。

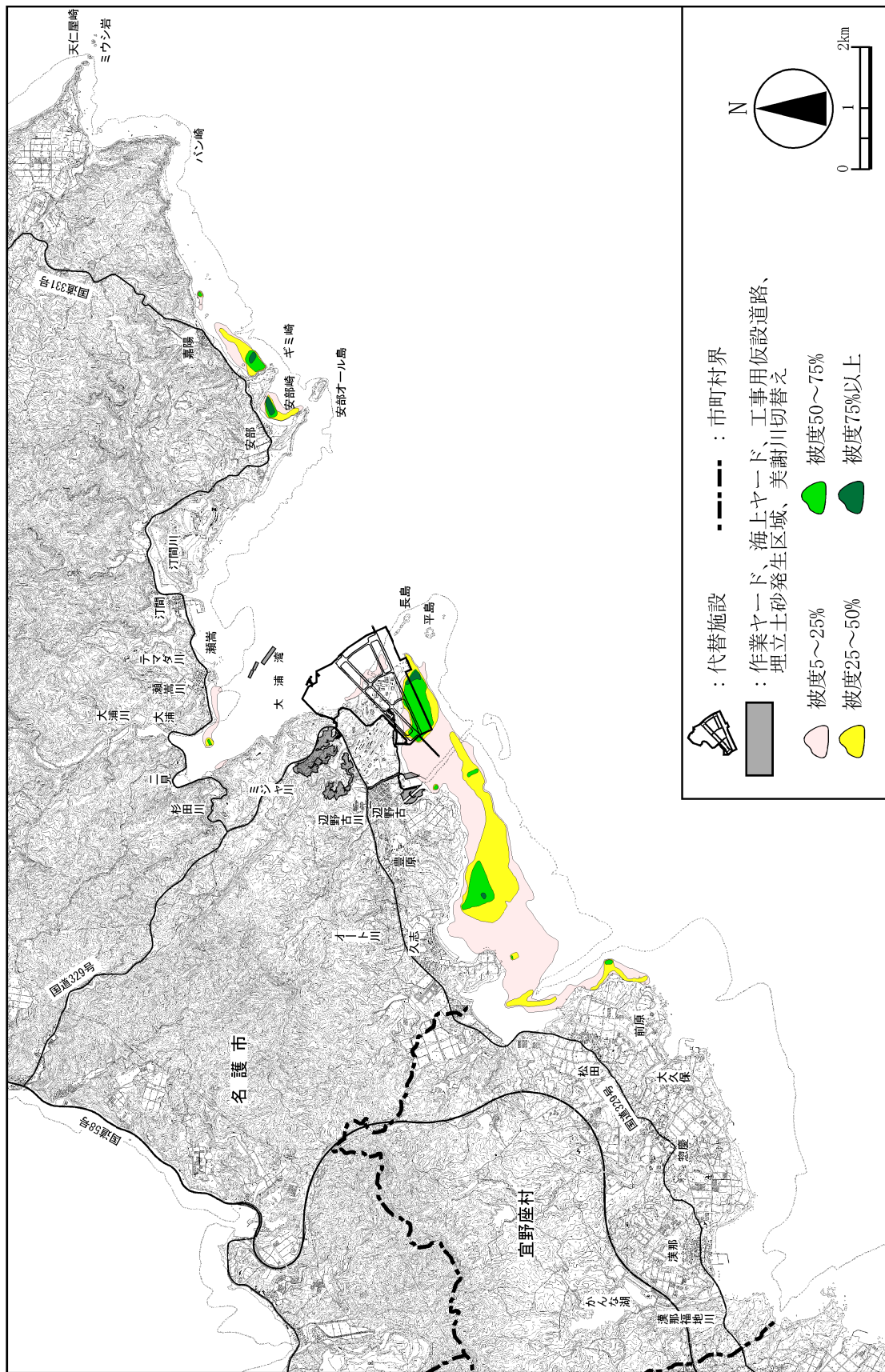


図-6.15.1.17 海草藻場の分布状況 (平成19年度)

資料：「シユワフブ (H18) 環境現況調査 (その3) 報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

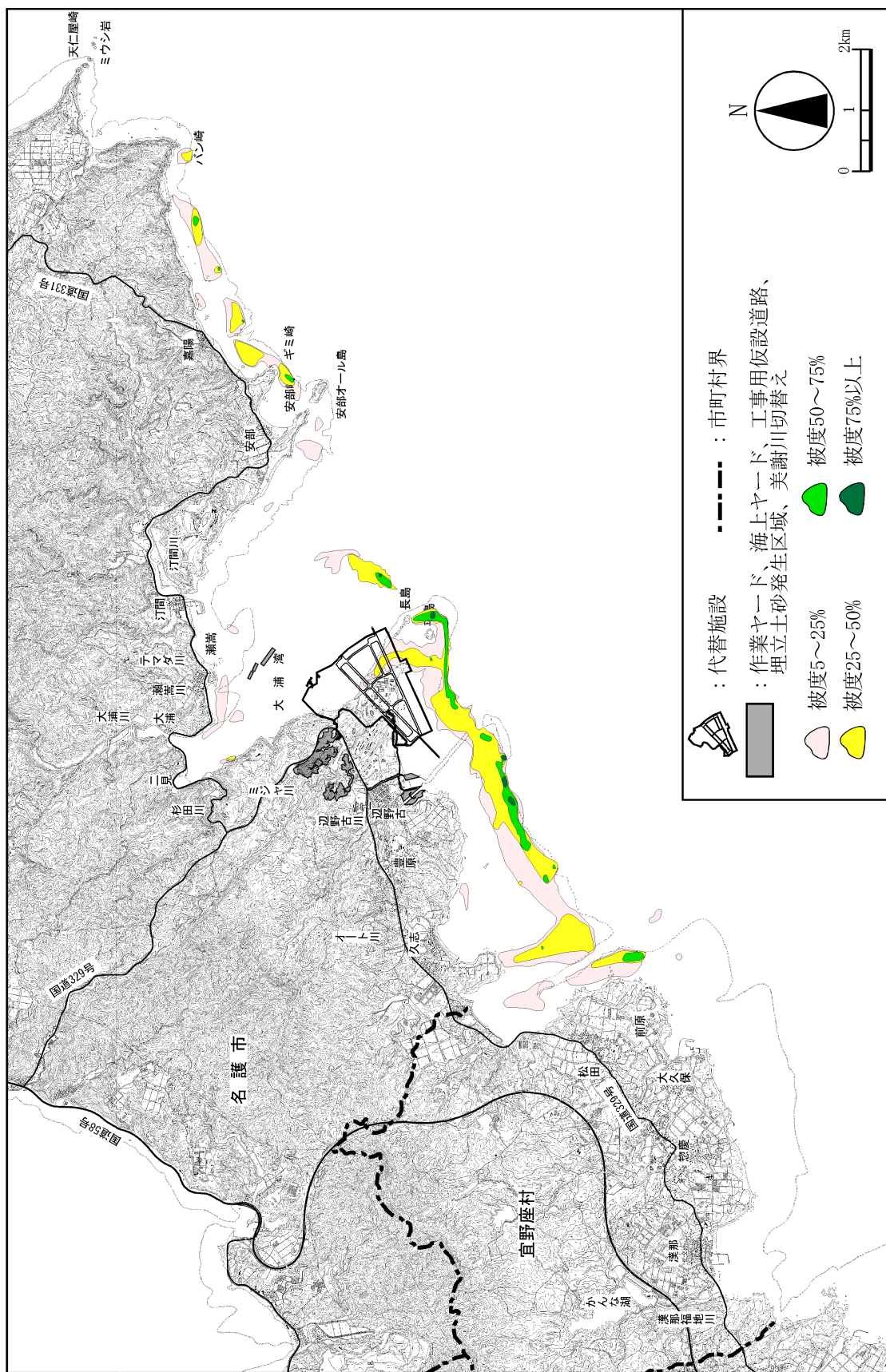


図-6.15.1.18 ホンダワラ藻場の分布状況 (平成 19 年度)

資料：「シチュワブ(H18)環境現況調査 (その3) 報告書」平成 20 年 12 月、沖縄防衛局

(c) 注目すべき種の分布、生育環境の状況

ライン調査、スポット調査等の結果から、当該海域において注目すべき海藻草類として、黄緑藻類のクビレミドロが該当するものと考えられます。本種は1属1種からなる海産種で、藻類の系統と進化を探る上に学術上きわめて貴重な種とされ、環境省による「レッドリスト」、ならびに沖縄県による「レッドデータおきなわ」において、ともに絶滅危惧I類に分類されています\*。

クビレミドロは、平成19年度には冬季の干潟生物調査(海域生物に係る調査)において確認され、その確認位置は図-6.15.1.19に示す大浦湾奥部の二見地先及び久志地先となっています。

資料：「哺乳類、汽水・淡水魚類、昆虫類、貝類、植物I及び植物IIのレッドリストの見直しについて」、平成19年8月、環境省、報道発表資料  
「改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物(菌類編・植物編)ーレッドデータおきなわー」(沖縄県2006年)

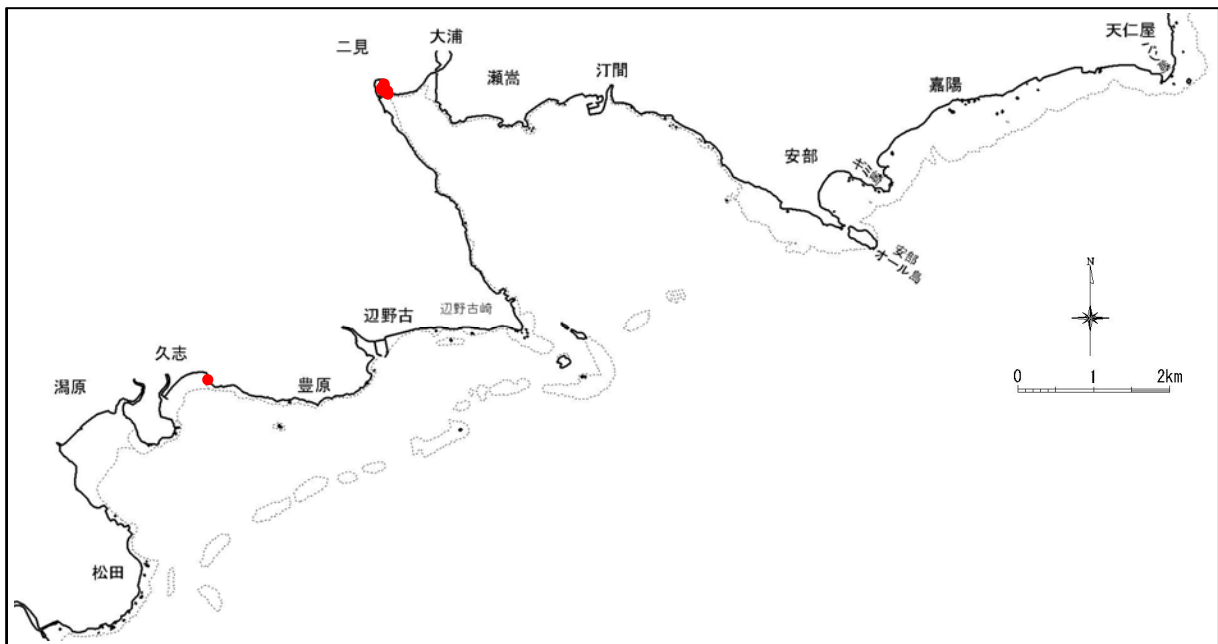


図-6.15.1.19 海藻草類の注目すべき種(クビレミドロ)の出現位置(平成19年度)

注)平成19年度の調査では、冬季の干潟生物調査において確認されています。

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

(d) リーフ外の深場における海藻草類の分布状況

a) ジュゴン調査における深場での海草類繁茂確認調査結果

リーフ外の深場における海藻草類の分布状況については、後述するジュゴンに係る調査として、平成19年10月に図-6.15.1.20に示す位置において、船上から水中ビデオカメラを搭載したROV（Remotely Operated Vehicle：遠隔操作無人探査機）を遠隔操作することによる水中ビデオ撮影により調査を行っています。

調査の結果、深場において海藻草類は確認されていません。

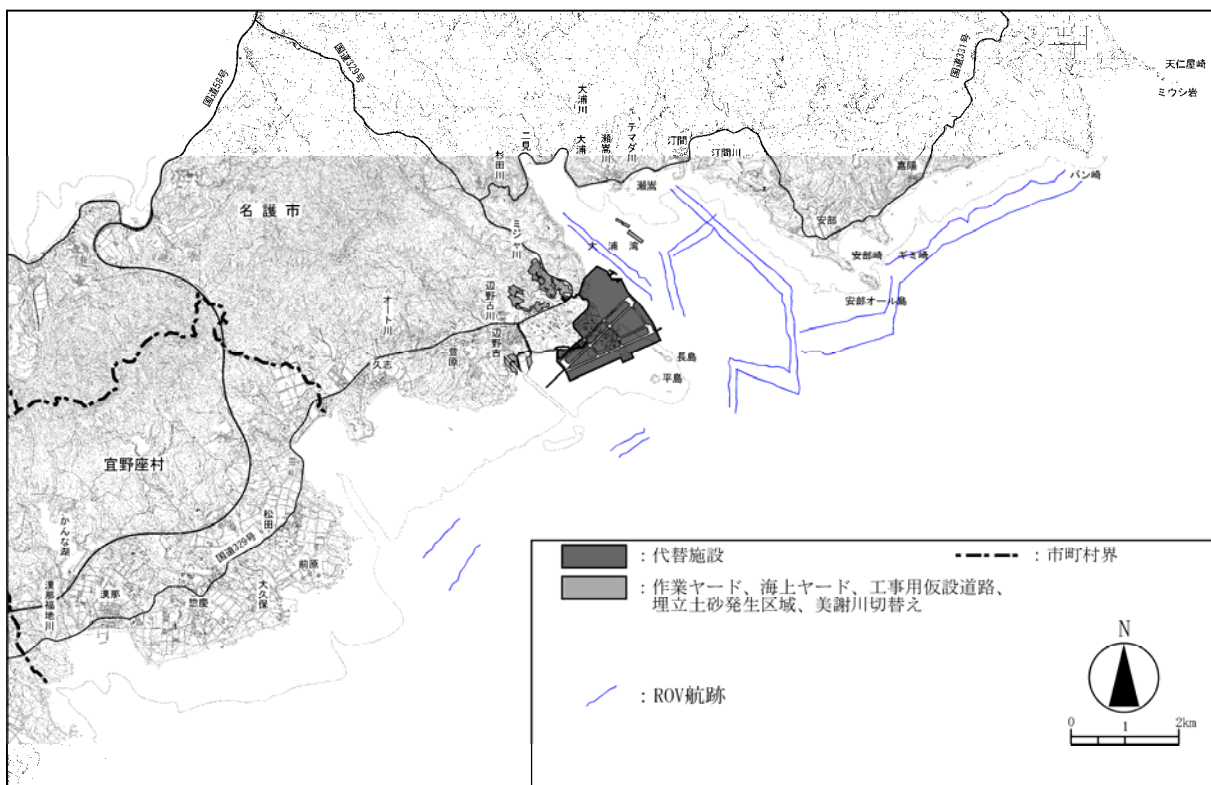


図-6.15.1.20 リーフ外の深場における海藻草類の分布状況調査位置（ROV航跡図）

注) 調査時期：平成19年10月16～19日

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」平成20年12月、沖縄防衛局

b) スポット調査等の結果に基づく水深と藻場の被度との関係

スポット調査の結果に基づいて、調査時の水深と藻場の被度との関係を整理した結果を図-6.15.1.21に示します。また、ライン調査の結果に基づいて、調査時の水深と藻場（海草藻場及びホンダワラ藻場）構成種各種の被度との関係を整理した結果を図-6.15.1.22及び図-6.15.1.23に示します。

これらの結果はリーフ内からリーフ外縁にかけての潜水目視観察が可能な水深帯における調査の結果を整理したものであり、リーフ外の深場における海藻草類の分布状況を示すものではありませんが、ここでは海藻草類の分布と水深との関係についての参考として示しました。

スポット調査の結果によれば、海草藻場、ホンダワラ藻場ともに水深5m以浅に分布が集中しており、ライン調査結果によれば藻場構成種の多くが水深10m以浅に分布しています。水深20m程度にまで分布が確認された種としては、海草類の中ではウミヒルモ、オオウミヒルモ及びウミヒルモ属が、ホンダワラ類の中ではホンダワラ属、ラップモク及びラップモク属があげられますが、被度はほとんどが5%未満（被度区分では1）です。

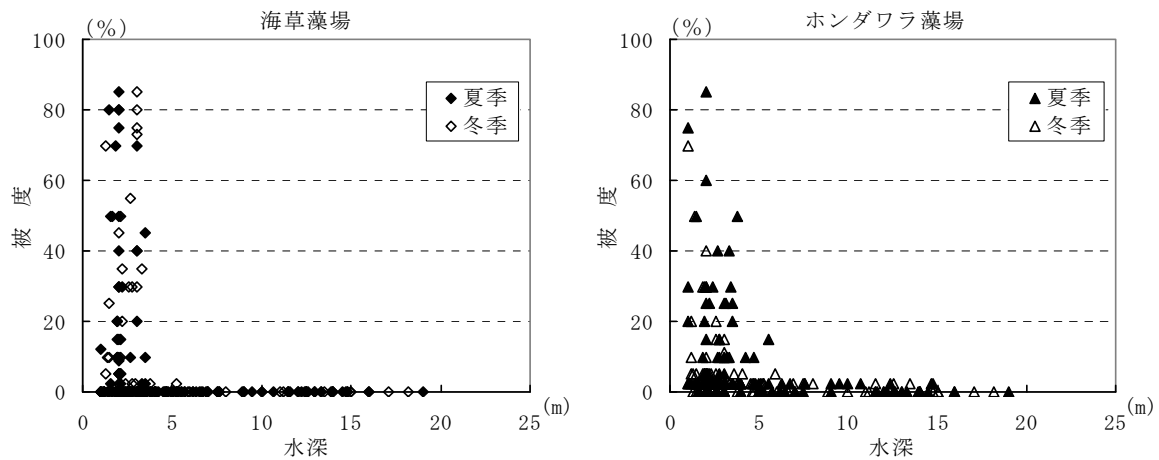


図-6.15.1.21 スポット調査結果に基づく藻場の被度と水深との関係（平成19年度）

注）水深は調査時の実測値です。

資料：「シュワブ(H18)環境現況調査（その3）報告書」（平成20年12月、沖縄防衛局）をもとに作成

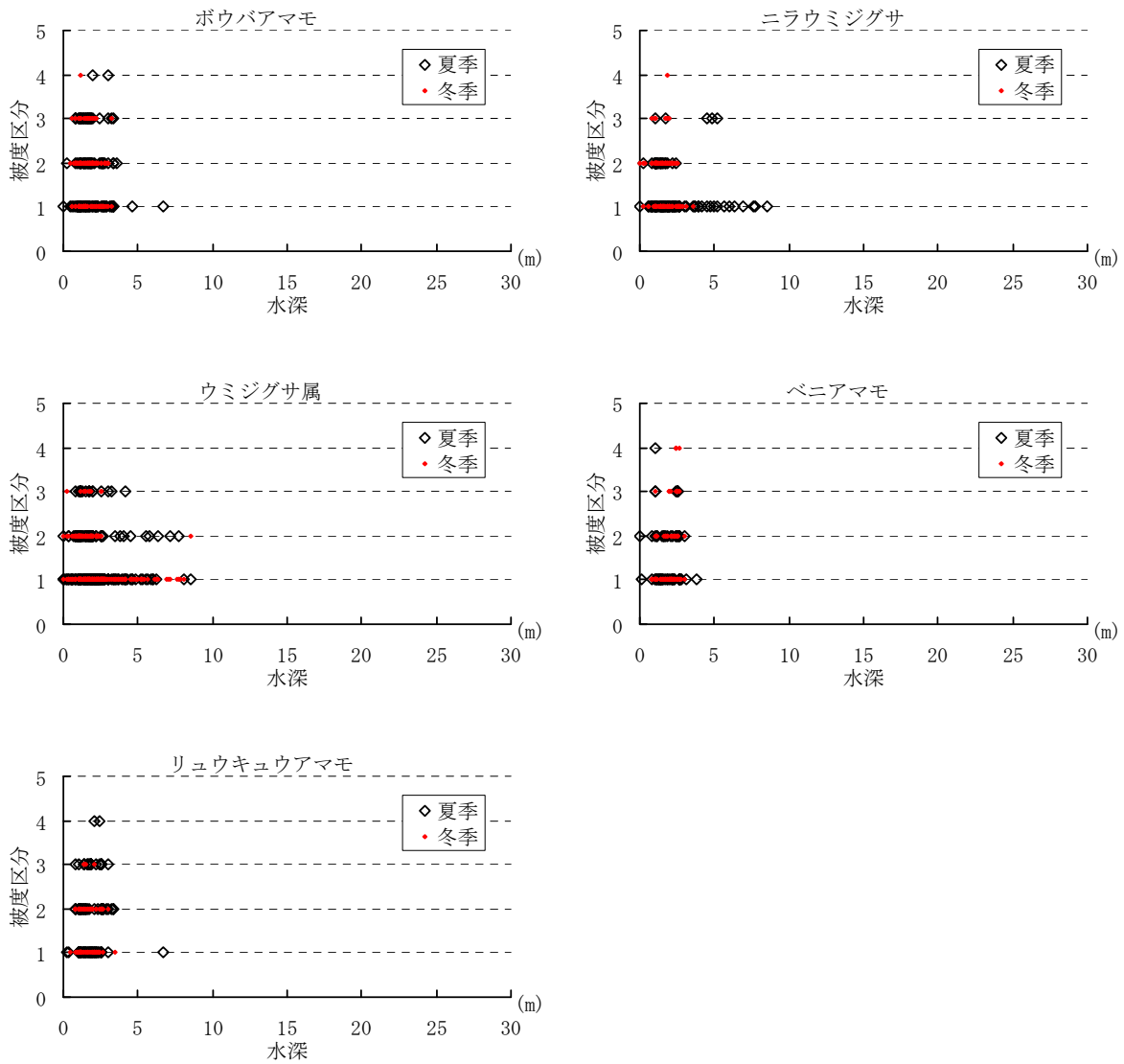


図-6.15.1.22(1) ライン調査結果に基づく海草藻場構成種の被度と水深との関係 (平成19年度)

注) 1. 被度区分は0:0%、1:5%未満、2:5~25%、3:25~50%、4:50~75%、5:75%以上です。  
 2. 水深は調査時の実測値です。

資料:「シュラブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」(平成20年12月、沖縄防衛局)をもとに作成

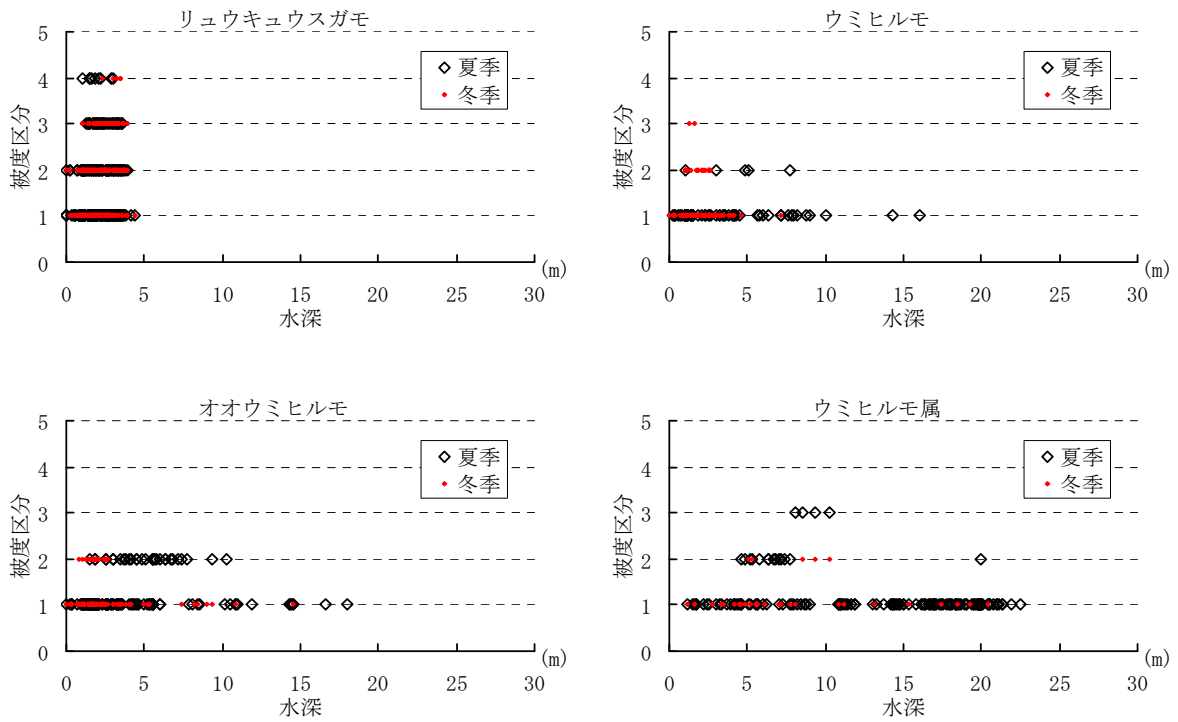


図-6. 15. 1. 22 (2) ライン調査結果に基づく海草藻場構成種の被度と水深との関係 (平成19年度)

注) 1. 被度区分は0:0%、1:5%未満、2:5~25%、3:25~50%、4:50~75%、5:75%以上です。  
 2. 水深は調査時の実測値です。

資料: 「シュワブ(H18)環境現況調査(その3)報告書」(平成20年12月、沖縄防衛局)をもとに作成



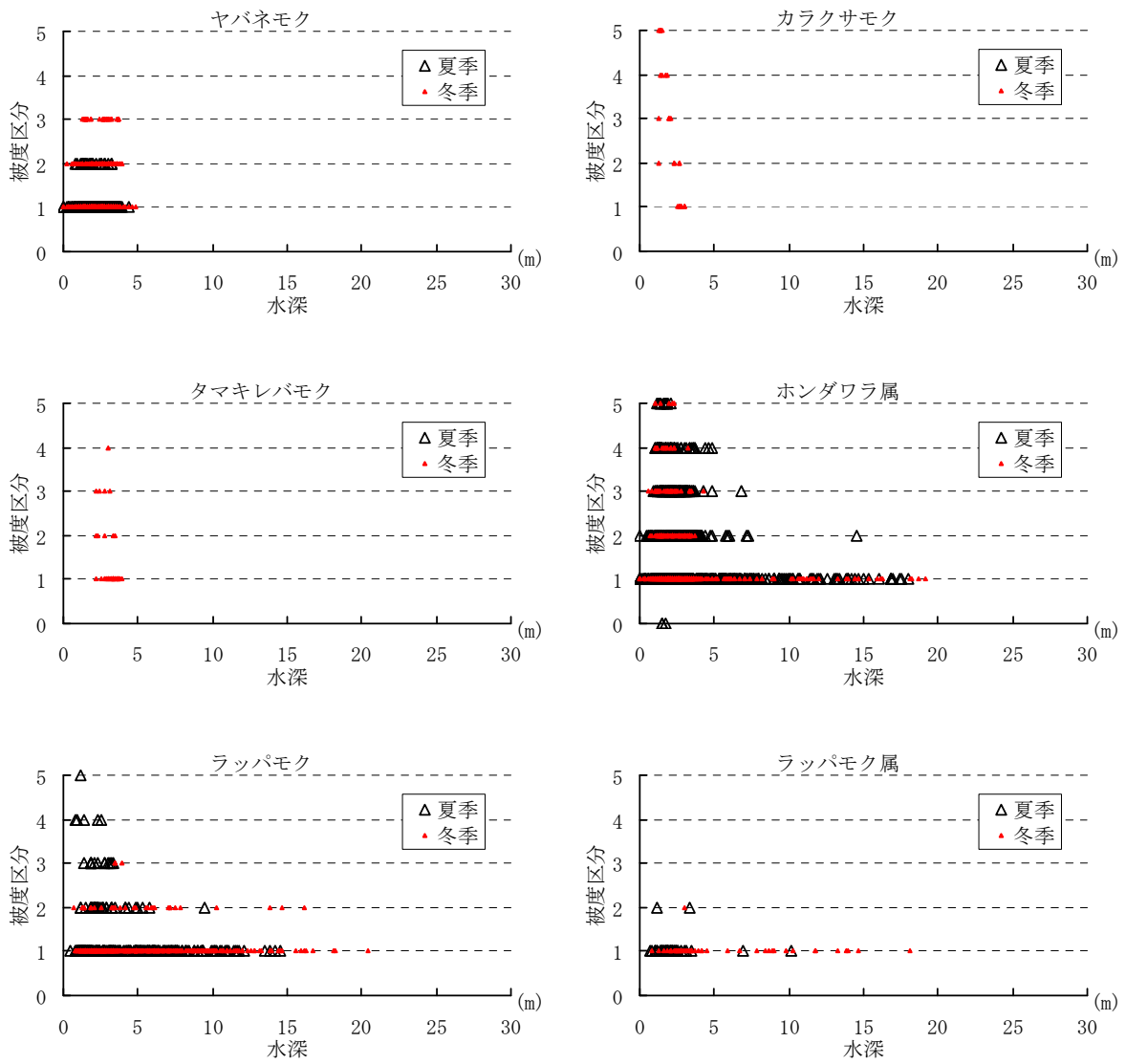


図-6. 15. 1. 23 ライン調査結果に基づくホンダワラ藻場構成種の被度と水深との関係  
(平成 19 年度)

注) 1. 被度区分は 0 : 0%、1 : 5%未満、2 : 5~25%、3 : 25~50%、4 : 50~75%、5 : 75%以上です。  
2. 水深は調査時の実測値です。

資料 : 「シュラブ (H18) 環境現況調査 (その 3) 報告書」(平成 20 年 12 月、沖縄防衛局) をもとに作成

## 2) 現地調査結果

### (a) 海藻草類の出現種、生育状況

#### a) マンタ調査

マンタ調査では、調査海域全域を対象として、海藻草類分布域の外周や主要な繁茂域の位置を確認しました。また、得られた結果はスポット調査の調査地点選定の際の参考としました。

#### b) ライン調査

ライン調査の結果について、アマモ類をはじめとする大型の海草類により構成される藻場（海草藻場）と、ホンダワラ類をはじめとする大型の海藻類により構成される藻場（ホンダワラ藻場）に分けて整理した結果の概要を表-6.15.1.13～表-6.15.1.16に、出現種一覧を表-6.15.1.17に示します。また、調査測線上の代表点で行ったライン上スポット調査の結果概要を表-6.15.1.18に、結果を表-6.15.1.19及び表-6.15.1.20に、海草藻場及びホンダワラ藻場の被度等の状況を図-6.15.1.24に示します。なお、各調査測線における地形（水深）、底質についてはサンゴ類の調査結果として資料編に示しています。このとき、サンゴ類の調査では調査測線名に「C」を用いていますが、海藻草類では「A」を用いているため、サンゴ類の「L-C1」と海藻草類の「L-A1」は同じ測線を指しています。さらに、各測線に出現した海草上における浮泥の堆積状況及び付着藻類の状況を表-6.15.1.21に示します。

海草藻場構成種（ベニアマモ科及びトチカガミ科の種）は夏季、冬季ともに9種類が出現しました。調査対象とした80測線のうち、被度50%以上の海草藻場は、夏季に18測線、冬季に11測線で確認されており、被度は冬季に比べて夏季に高い傾向にありましたが、夏季と冬季の被度に大きな差がない測線もありました。比較的被度が高い箇所は、調査海域東側ではギミ崎の東側及び安部の湾内、辺野古崎から西側では辺野古地先及び久志地先などのリーフ内の砂質・砂礫質からなる平坦な海域に分布していました。また、大浦湾内では湾奥部に高被度域がみられました。

ホンダワラ藻場構成種（ホンダワラ科の種）は夏季に11種類、冬季に5種類と夏季の方が多く出現しました。被度50%以上のホンダワラ藻場は、夏季に32測線、冬季に12測線と夏季の方が多くの測線で確認されており、被度は冬季に比べて夏季に高い傾向にありましたが、海草藻場と同様に、夏季と冬季の被度に大きな差がない測線もありました。また、ライン上スポットの結果でも同様に夏季にホンダワラ類が繁茂する傾向がみられました。比較的被度の高い箇所は、嘉陽～安部、辺野古崎～久志、大浦湾の湾口部などのリーフ内からリーフ外縁にかけての岩盤を主体とした底質域に分布していました。

海草上の浮泥の堆積状況についてみると、夏季に多くなる傾向がみられました。付着藻類では、季節によって変化はみられたものの、一定の傾向はみられませんでした。

表-6. 15. 1. 13(1) ライン調査による海草藻場調査結果概要（平成20年度、夏季）

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A1	440	66	34	0	0	0	0	2	0
L-A2	550	55	33	13	0	0	0	7	0
L-A3	520	35	8	17	10	29	2	8	0
L-A4	770	32	29	26	13	0	0	6	0
L-A5	2420	100	0	0	0	0	0	0	1050
L-A6	2700	100	0	0	0	0	0	0	580
L-A7	2980	97	3	0	0	0	0	2	1450
L-A8	2410	88	12	0	0	0	0	1	310
L-A9	2240	63	31	6	0	0	0	4	760
L-A10	1960	88	12	0	0	0	0	3	660
L-A11	1360	84	16	0	0	0	0	3	200
L-A12	1280	87	13	0	0	0	0	2	190
L-A13	470	26	51	23	0	0	0	5	0
L-A14	630	22	32	11	6	19	10	8	0
L-A15	770	91	9	0	0	0	0	4	0
L-A16	840	45	20	30	5	0	0	5	640
L-A17	970	100	0	0	0	0	0	0	800
L-A18	1100	69	31	0	0	0	0	4	590
L-A19	1290	63	5	23	8	0	0	5	690
L-A20	1170	59	5	26	10	0	0	7	780
L-A21	3800	90	2	5	4	0	0	6	2540
L-A22	2260	99	1	0	0	0	0	3	160
L-A23	1760	97	1	1	0	0	0	1	320
L-A24	1980	57	7	17	12	5	3	7	780
L-A25	2250	45	13	25	15	2	0	8	930
L-A26	2190	61	20	11	8	1	0	7	410
L-A27	1950	68	17	11	4	0	0	3	650

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

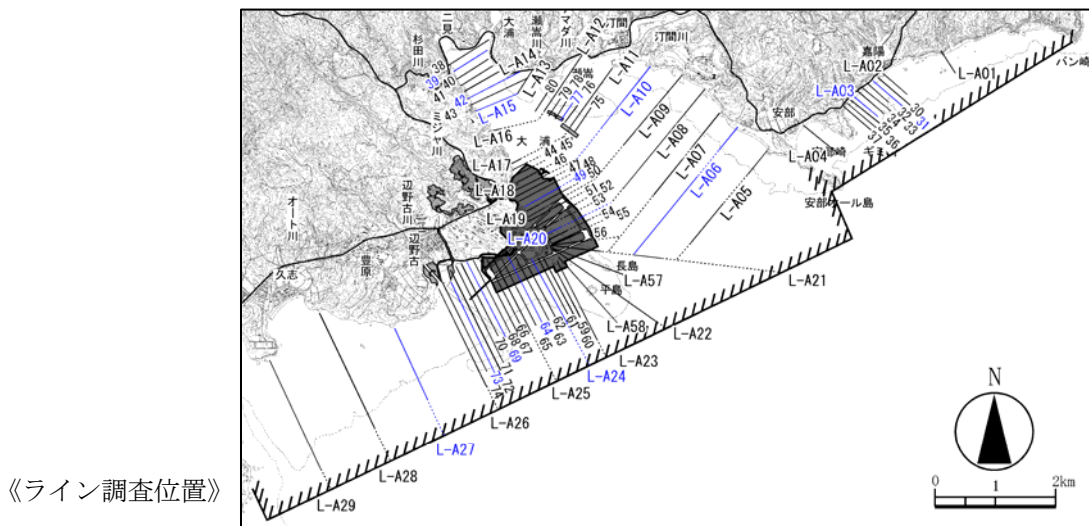
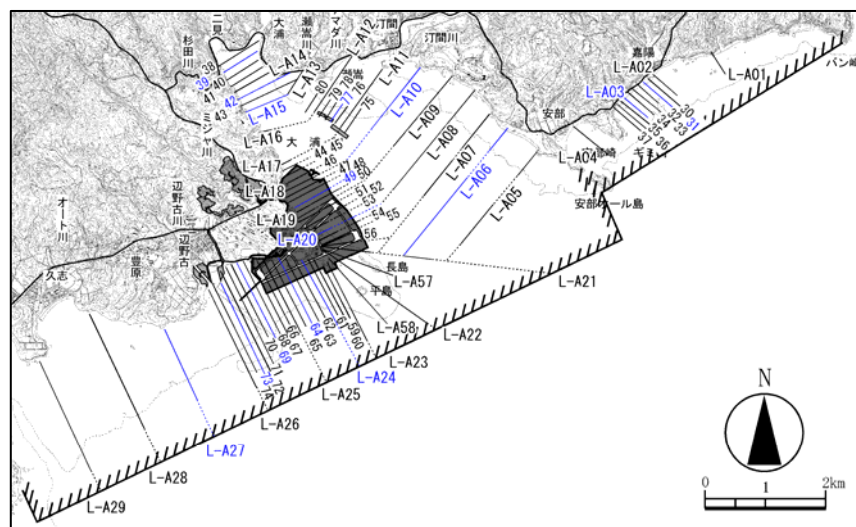


表-6. 15. 1. 13(2) ライン調査による海草藻場調査結果概要（平成20年度、夏季）

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A28	2700	54	14	12	13	6	0	8	600
L-A29	2340	81	8	7	4	0	0	6	360
L-A30	700	59	9	21	11	0	0	5	0
L-A31	700	74	17	6	3	0	0	8	0
L-A32	480	67	27	6	0	0	0	4	0
L-A33	640	63	16	13	6	3	0	8	0
L-A34	590	49	17	24	10	0	0	8	0
L-A35	650	78	8	9	3	2	0	8	0
L-A36	640	63	8	8	8	9	5	8	0
L-A37	630	60	3	5	19	13	0	7	0
L-A38	780	76	24	0	0	0	0	4	0
L-A39	660	59	26	14	2	0	0	3	0
L-A40	640	25	41	34	0	0	0	8	0
L-A41	660	42	27	29	2	0	0	9	0
L-A42	970	41	46	12	0	0	0	8	0
L-A43	1020	59	37	4	0	0	0	7	0
L-A44	530	35	65	0	0	0	0	2	270
L-A45	640	73	28	0	0	0	0	1	240
L-A46	700	62	38	0	0	0	0	3	250
L-A47	960	99	1	0	0	0	0	1	260
L-A48	990	86	14	0	0	0	0	3	230
L-A49	950	70	9	20	2	0	0	5	290
L-A50	1010	43	57	0	0	0	0	5	330
L-A51	1040	67	33	0	0	0	0	3	430
L-A52	1010	35	62	3	0	0	0	4	410
L-A53	920	47	50	3	0	0	0	5	600
L-A54	1010	70	30	0	0	0	0	3	540

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。



《ライン調査位置》

表-6. 15. 1. 13(3) ライン調査による海草藻場調査結果概要 (平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A55	1010	61	39	0	0	0	0	4	600
L-A56	1130	79	19	2	0	0	0	6	560
L-A57	1230	95	5	0	0	0	0	3	0
L-A58	1450	98	2	0	0	0	0	2	0
L-A59	980	73	9	11	6	0	0	6	0
L-A60	1060	42	19	34	6	0	0	7	0
L-A61	1050	40	10	14	30	5	0	7	0
L-A62	1060	52	8	18	23	0	0	8	0
L-A63	1190	66	6	10	17	1	0	6	0
L-A64	1220	41	17	39	3	0	0	7	0
L-A65	1230	48	12	24	8	8	0	9	0
L-A66	1190	48	9	24	18	1	0	7	0
L-A67	1360	32	18	29	21	0	0	8	0
L-A68	1350	38	21	33	8	0	0	8	0
L-A69	1400	27	15	16	17	25	0	8	0
L-A70	1350	25	20	25	19	10	0	8	0
L-A71	1790	43	22	25	4	5	0	7	0
L-A72	1850	46	22	26	5	1	0	7	0
L-A73	1660	50	30	13	8	0	0	7	0
L-A74	1640	52	26	15	8	0	0	7	0
L-A75	480	40	60	0	0	0	0	3	0
L-A76	380	63	37	0	0	0	0	3	0
L-A77	370	59	41	0	0	0	0	3	0
L-A78	360	61	39	0	0	0	0	3	0
L-A79	360	47	53	0	0	0	0	3	0
L-A80	380	42	58	0	0	0	0	2	0

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

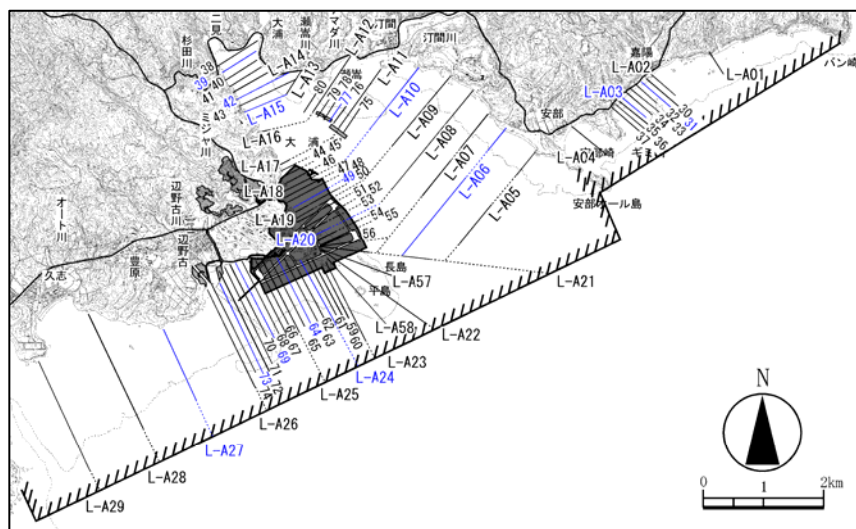


表-6. 15. 1. 14(1) ライン調査による海草藻場調査結果概要（平成20年度、冬季）

調査時期：平成20年12月1日～平成20年1月31日

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A1	440	86	14	0	0	0	0	1	0
L-A2	550	67	7	25	0	0	0	4	0
L-A3	520	44	13	17	25	0	0	8	0
L-A4	770	34	22	10	27	6	0	7	0
L-A5	2420	100	0	0	0	0	0	0	1050
L-A6	2700	100	0	0	0	0	0	0	580
L-A7	2980	100	0	0	0	0	0	0	1450
L-A8	2410	97	3	0	0	0	0	2	310
L-A9	2240	59	41	0	0	0	0	2	760
L-A10	1960	92	7	2	0	0	0	2	660
L-A11	1360	84	16	0	0	0	0	4	200
L-A12	1280	85	15	0	0	0	0	4	190
L-A13	470	34	38	26	2	0	0	6	0
L-A14	630	17	49	19	14	0	0	8	0
L-A15	770	88	9	3	0	0	0	3	0
L-A16	840	50	35	15	0	0	0	3	640
L-A17	970	94	6	0	0	0	0	2	800
L-A18	1100	100	0	0	0	0	0	0	590
L-A19	1290	65	30	5	0	0	0	3	690
L-A20	1170	59	38	3	0	0	0	5	780
L-A21	3800	90	2	8	0	0	0	2	2540
L-A22	2260	99	1	0	0	0	0	3	160
L-A23	1760	95	3	1	0	0	0	1	320
L-A24	1980	59	3	14	23	0	0	8	780
L-A25	2250	48	8	17	11	12	3	7	930
L-A26	2190	58	15	13	10	4	0	8	410
L-A27	1950	75	8	13	5	0	0	5	650

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

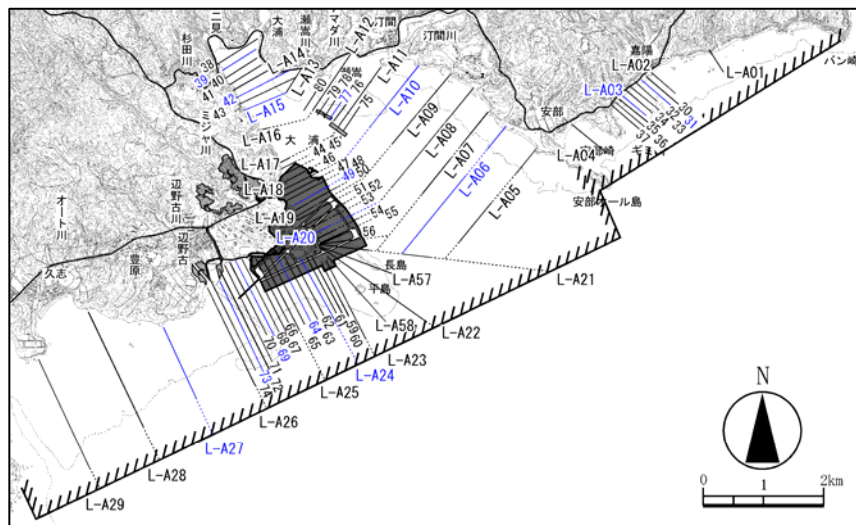


表-6. 15. 1. 14(2) ライン調査による海草藻場調査結果概要（平成20年度、冬季）

調査時期：平成20年12月1日～平成20年1月31日

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A28	2700	48	16	25	11	0	0	8	600
L-A29	2340	63	26	6	5	0	0	8	360
L-A30	700	60	31	9	0	0	0	8	0
L-A31	700	79	6	10	6	0	0	6	0
L-A32	480	50	50	0	0	0	0	3	0
L-A33	640	58	14	25	3	0	0	7	0
L-A34	590	49	19	20	12	0	0	8	0
L-A35	650	74	9	12	5	0	0	8	0
L-A36	640	72	2	11	16	0	0	8	0
L-A37	630	62	2	5	11	21	0	7	0
L-A38	780	73	27	0	0	0	0	4	0
L-A39	660	52	47	2	0	0	0	4	0
L-A40	640	36	42	22	0	0	0	8	0
L-A41	660	48	38	14	0	0	0	7	0
L-A42	970	46	24	26	4	0	0	6	0
L-A43	1020	66	32	2	0	0	0	7	0
L-A44	530	50	50	0	0	0	0	3	270
L-A45	640	68	33	0	0	0	0	2	240
L-A46	700	58	42	0	0	0	0	2	250
L-A47	960	90	10	0	0	0	0	2	260
L-A48	990	88	12	0	0	0	0	2	230
L-A49	950	59	35	6	0	0	0	6	290
L-A50	1010	68	32	0	0	0	0	3	330
L-A51	1040	95	5	0	0	0	0	3	430
L-A52	1010	52	48	0	0	0	0	4	410
L-A53	920	69	31	0	0	0	0	3	600
L-A54	1010	83	17	0	0	0	0	3	540

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

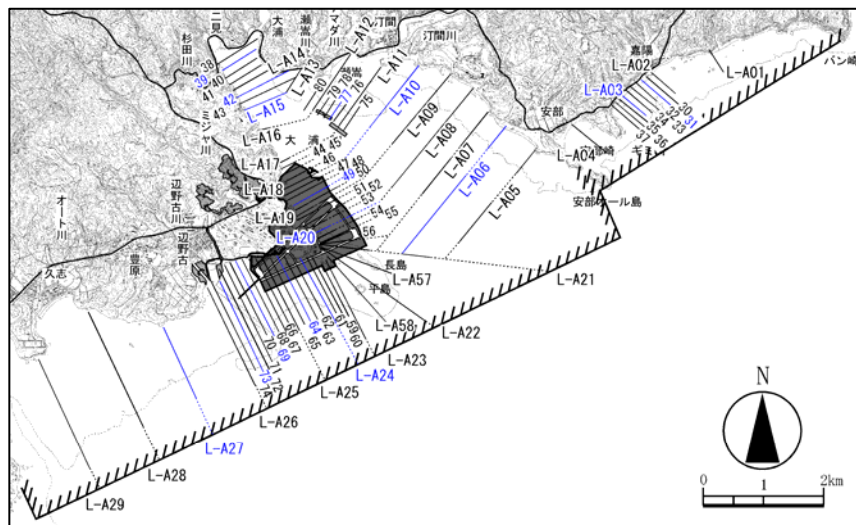




表-6. 15. 1. 14(3) ライン調査による海草藻場調査結果概要（平成20年度、冬季）

調査時期：平成20年12月1日～平成20年1月31日

調査測線	測線延長 (m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV 調査延長 (m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A55	1010	68	32	0	0	0	0	5	600
L-A56	1130	79	21	0	0	0	0	7	560
L-A57	1230	96	4	0	0	0	0	3	0
L-A58	1450	99	1	0	0	0	0	1	0
L-A59	980	70	14	8	7	0	0	7	0
L-A60	1060	46	9	25	19	0	0	7	0
L-A61	1050	48	5	13	15	19	0	8	0
L-A62	1060	51	15	21	13	0	0	8	0
L-A63	1190	64	8	12	17	0	0	8	0
L-A64	1220	45	6	12	13	24	0	6	0
L-A65	1230	48	15	26	11	0	0	8	0
L-A66	1190	49	2	14	34	1	0	7	0
L-A67	1360	33	7	32	28	0	0	8	0
L-A68	1350	41	7	33	19	0	0	7	0
L-A69	1400	26	24	19	31	0	0	8	0
L-A70	1350	21	18	26	16	19	1	8	0
L-A71	1790	43	23	24	9	0	0	7	0
L-A72	1850	44	14	21	20	1	0	7	0
L-A73	1660	56	6	25	12	1	0	6	0
L-A74	1640	50	21	19	10	1	0	8	0
L-A75	480	40	60	0	0	0	0	3	0
L-A76	380	63	37	0	0	0	0	2	0
L-A77	370	54	46	0	0	0	0	3	0
L-A78	360	58	42	0	0	0	0	3	0
L-A79	360	50	50	0	0	0	0	2	0
L-A80	380	34	66	0	0	0	0	3	0

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)における海草藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

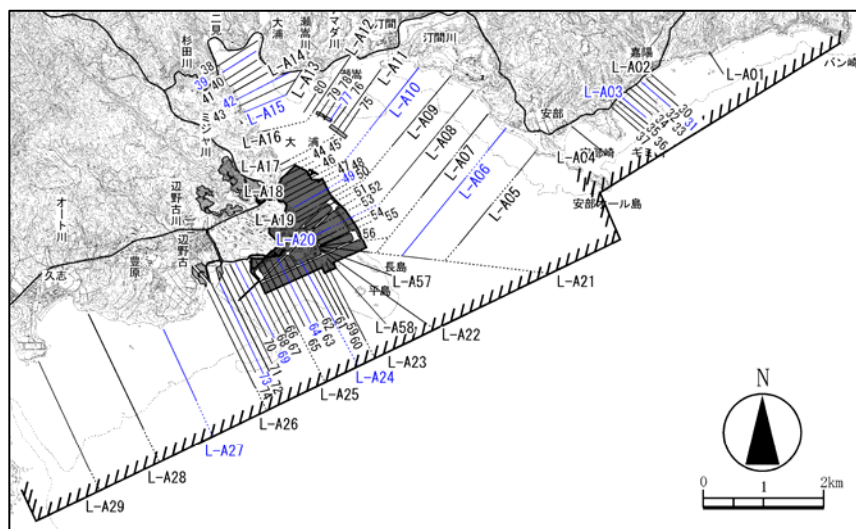


表-6.15.1.15(1) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A1	440	32	39	14	11	5	0	3	0
L-A2	550	20	20	27	33	0	0	3	0
L-A3	520	23	27	31	8	8	4	3	0
L-A4	770	38	45	10	4	3	0	3	0
L-A5	2420	17	34	39	9	0	0	2	1050
L-A6	2700	25	25	9	15	9	17	5	580
L-A7	2980	43	54	3	0	0	0	3	1450
L-A8	2410	81	19	0	0	0	0	3	310
L-A9	2240	95	5	0	0	0	0	2	760
L-A10	1960	85	13	2	0	0	0	2	660
L-A11	1360	80	16	3	0	0	0	3	200
L-A12	1280	72	28	0	0	0	0	3	190
L-A13	470	62	34	4	0	0	0	1	0
L-A14	630	56	40	5	0	0	0	4	0
L-A15	770	70	30	0	0	0	0	2	0
L-A16	840	90	10	0	0	0	0	1	640
L-A17	970	41	41	18	0	0	0	2	800
L-A18	1100	84	16	0	0	0	0	2	590
L-A19	1290	70	20	10	0	0	0	3	690
L-A20	1170	49	44	8	0	0	0	3	780
L-A21	3800	12	63	20	5	0	0	5	2540
L-A22	2260	38	21	25	11	5	0	3	160
L-A23	1760	22	28	28	17	3	2	4	320
L-A24	1980	33	33	23	9	3	0	5	780
L-A25	2250	20	39	25	14	2	0	3	930
L-A26	2190	34	28	21	4	3	11	3	410
L-A27	1950	28	34	22	9	2	5	6	650

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

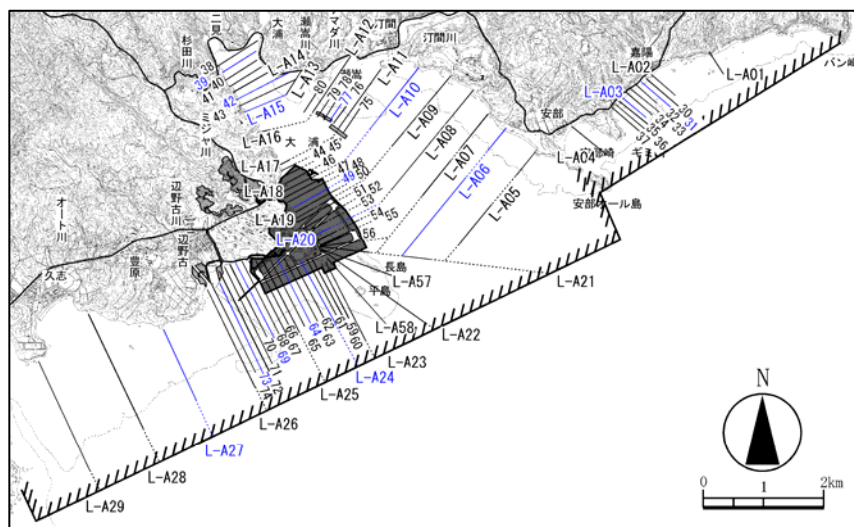


表-6.15.1.15(2) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A28	2700	36	24	18	11	4	7	4	600
L-A29	2340	15	47	26	6	4	3	4	360
L-A30	700	9	17	21	44	6	3	3	0
L-A31	700	19	26	29	11	11	4	3	0
L-A32	480	40	35	25	0	0	0	4	0
L-A33	640	27	63	11	0	0	0	3	0
L-A34	590	27	39	27	7	0	0	4	0
L-A35	650	38	46	12	3	0	0	3	0
L-A36	640	25	45	16	5	6	3	6	0
L-A37	630	51	19	19	6	5	0	3	0
L-A38	780	99	1	0	0	0	0	1	0
L-A39	660	100	0	0	0	0	0	0	0
L-A40	640	38	41	22	0	0	0	3	0
L-A41	660	50	48	2	0	0	0	3	0
L-A42	970	29	63	8	0	0	0	3	0
L-A43	1020	40	53	7	0	0	0	3	0
L-A44	530	69	31	0	0	0	0	3	270
L-A45	640	80	20	0	0	0	0	3	240
L-A46	700	91	9	0	0	0	0	2	250
L-A47	960	93	7	0	0	0	0	2	260
L-A48	990	80	20	0	0	0	0	3	230
L-A49	950	67	33	0	0	0	0	3	290
L-A50	1010	64	36	0	0	0	0	2	330
L-A51	1040	38	28	33	0	0	0	3	430
L-A52	1010	32	35	32	0	0	0	3	410
L-A53	920	59	22	13	6	0	0	3	600
L-A54	1010	62	32	6	0	0	0	3	540

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

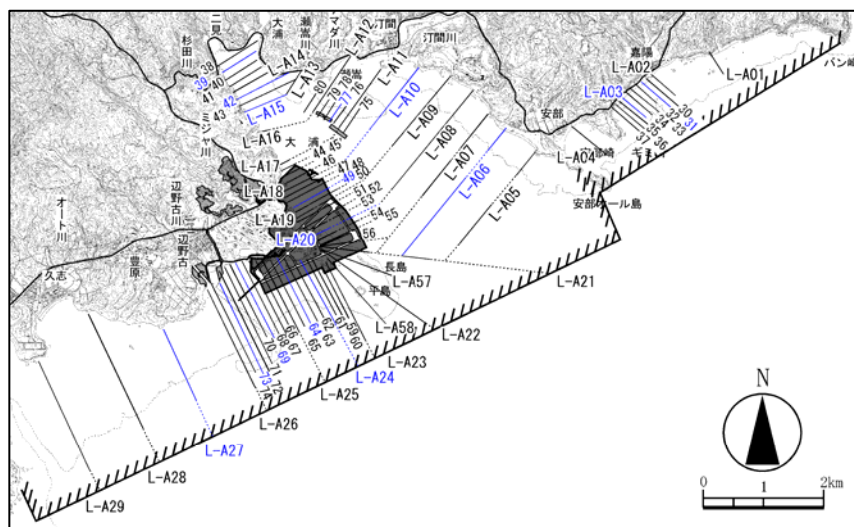


表-6.15.1.15(3) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A55	1010	27	27	41	5	0	0	3	600
L-A56	1130	18	58	25	0	0	0	3	560
L-A57	1230	10	45	41	4	1	0	3	0
L-A58	1450	15	42	20	8	14	2	3	0
L-A59	980	1	41	34	23	1	0	3	0
L-A60	1060	7	47	34	10	2	0	3	0
L-A61	1050	23	36	24	15	2	0	3	0
L-A62	1060	18	29	35	11	7	0	3	0
L-A63	1190	24	26	14	33	3	0	3	0
L-A64	1220	20	46	19	10	5	0	3	0
L-A65	1230	20	29	20	19	13	0	3	0
L-A66	1190	25	38	23	7	8	0	3	0
L-A67	1360	48	41	4	7	0	0	3	0
L-A68	1350	36	37	24	4	0	0	3	0
L-A69	1400	49	34	6	7	5	0	3	0
L-A70	1350	59	24	3	11	4	0	3	0
L-A71	1790	37	24	20	9	8	1	3	0
L-A72	1850	41	29	18	4	2	6	5	0
L-A73	1660	34	21	13	14	7	11	3	0
L-A74	1640	38	23	29	2	8	0	3	0
L-A75	480	88	13	0	0	0	0	1	0
L-A76	380	79	21	0	0	0	0	1	0
L-A77	370	81	19	0	0	0	0	1	0
L-A78	360	92	8	0	0	0	0	1	0
L-A79	360	92	8	0	0	0	0	2	0
L-A80	380	87	11	3	0	0	0	2	0

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

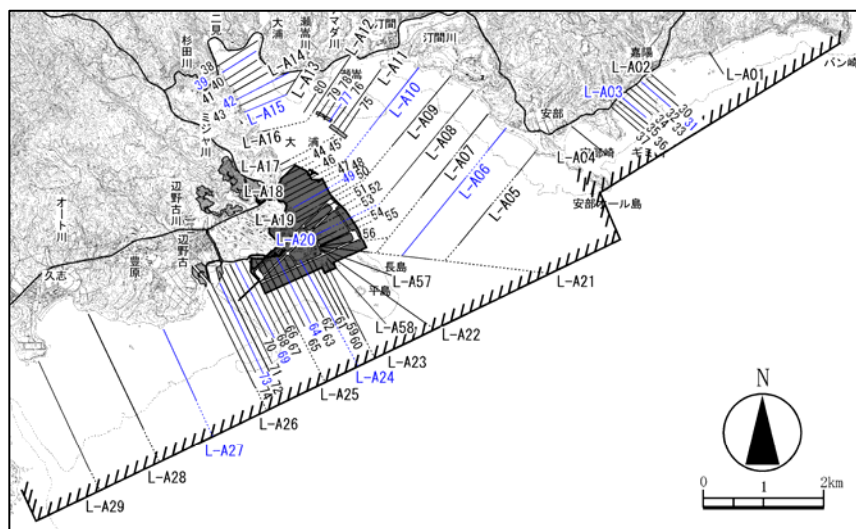


表-6.15.1.16(1) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、冬季)

調査時期：平成20年12月1日～平成21年1月31日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A1	440	77	16	7	0	0	0	4	0
L-A2	550	29	44	27	0	0	0	4	0
L-A3	520	31	46	23	0	0	0	4	0
L-A4	770	55	44	1	0	0	0	4	0
L-A5	2420	50	45	5	0	0	0	2	1050
L-A6	2700	40	41	12	4	3	0	2	580
L-A7	2980	59	37	3	0	0	0	1	1450
L-A8	2410	90	9	0	0	0	0	3	310
L-A9	2240	98	2	0	0	0	0	1	760
L-A10	1960	98	2	0	0	0	0	2	660
L-A11	1360	84	16	0	0	0	0	3	200
L-A12	1280	83	17	0	0	0	0	4	190
L-A13	470	70	28	2	0	0	0	3	0
L-A14	630	54	46	0	0	0	0	4	0
L-A15	770	62	35	3	0	0	0	3	0
L-A16	840	100	0	0	0	0	0	1	640
L-A17	970	76	24	0	0	0	0	0	800
L-A18	1100	100	0	0	0	0	0	0	590
L-A19	1290	92	8	0	0	0	0	3	690
L-A20	1170	97	3	0	0	0	0	1	780
L-A21	3800	50	42	8	0	0	0	3	2540
L-A22	2260	55	29	10	1	6	0	4	160
L-A23	1760	33	37	26	4	0	0	4	320
L-A24	1980	43	18	40	0	0	0	4	780
L-A25	2250	31	33	35	1	0	0	4	930
L-A26	2190	39	38	16	4	4	0	4	410
L-A27	1950	46	24	29	1	0	0	3	650

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

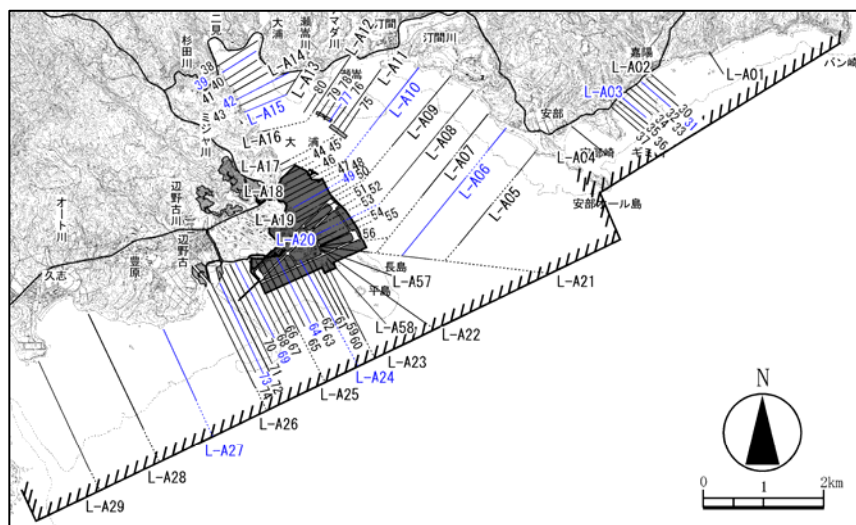


表-6.15.1.16(2) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、冬季)

調査時期：平成20年12月1日～平成21年1月31日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A28	2700	31	49	10	4	6	0	5	600
L-A29	2340	13	55	23	9	0	0	4	360
L-A30	700	20	50	19	10	1	0	4	0
L-A31	700	39	27	31	3	0	0	4	0
L-A32	480	46	50	4	0	0	0	2	0
L-A33	640	56	44	0	0	0	0	3	0
L-A34	590	37	54	5	3	0	0	4	0
L-A35	650	37	45	15	3	0	0	2	0
L-A36	640	53	27	20	0	0	0	3	0
L-A37	630	73	16	11	0	0	0	4	0
L-A38	780	99	1	0	0	0	0	1	0
L-A39	660	100	0	0	0	0	0	0	0
L-A40	640	84	16	0	0	0	0	3	0
L-A41	660	79	20	2	0	0	0	4	0
L-A42	970	56	38	6	0	0	0	4	0
L-A43	1020	53	47	0	0	0	0	4	0
L-A44	530	85	15	0	0	0	0	2	270
L-A45	640	100	0	0	0	0	0	0	240
L-A46	700	82	18	0	0	0	0	3	250
L-A47	960	99	1	0	0	0	0	1	260
L-A48	990	84	16	0	0	0	0	3	230
L-A49	950	95	5	0	0	0	0	3	290
L-A50	1010	100	0	0	0	0	0	0	330
L-A51	1040	87	13	0	0	0	0	3	430
L-A52	1010	95	5	0	0	0	0	2	410
L-A53	920	97	3	0	0	0	0	1	600
L-A54	1010	64	36	0	0	0	0	2	540

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

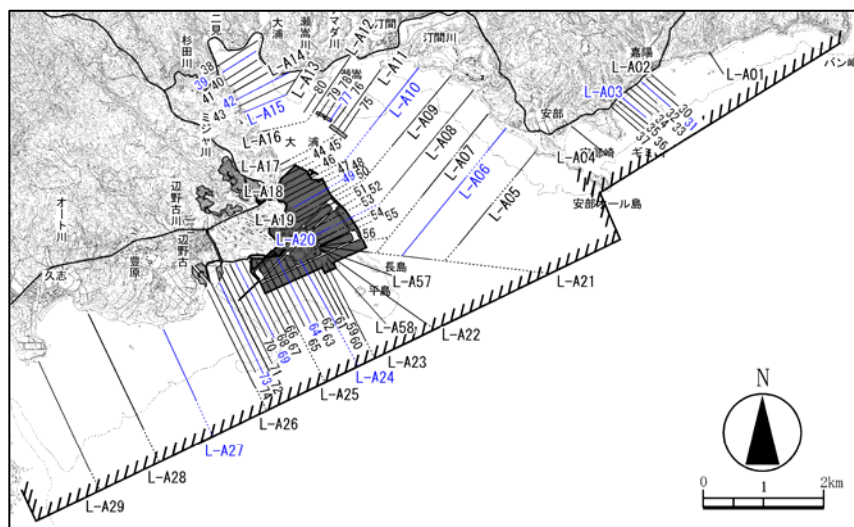


表-6.15.1.16(3) ライン調査によるホンダワラ藻場調査結果概要(平成20年度、冬季)

調査時期：平成20年12月1日～平成21年1月31日

調査測線	測線延長(m)	潜水目視観察による被度区分別頻度						出現種類数	ROV調査延長(m)
		0%	5%未満	5～25%	25～50%	50～75%	75%以上		
L-A55	1010	56	44	0	0	0	0	2	600
L-A56	1130	4	79	18	0	0	0	3	560
L-A57	1230	27	48	24	1	0	0	4	0
L-A58	1450	35	31	16	5	14	0	3	0
L-A59	980	3	45	39	13	0	0	4	0
L-A60	1060	10	57	30	3	0	0	4	0
L-A61	1050	30	45	8	16	1	0	4	0
L-A62	1060	30	47	23	0	0	0	4	0
L-A63	1190	31	34	19	16	0	0	4	0
L-A64	1220	43	26	22	8	0	0	4	0
L-A65	1230	30	33	34	2	0	0	4	0
L-A66	1190	44	20	36	0	0	0	4	0
L-A67	1360	77	15	7	0	0	0	4	0
L-A68	1350	51	27	13	8	1	0	4	0
L-A69	1400	44	39	11	5	0	0	4	0
L-A70	1350	64	24	12	0	0	0	3	0
L-A71	1790	44	31	11	7	7	0	4	0
L-A72	1850	56	16	19	5	4	0	4	0
L-A73	1660	45	22	27	5	2	0	4	0
L-A74	1640	45	22	24	7	2	0	4	0
L-A75	480	88	13	0	0	0	0	1	0
L-A76	380	97	3	0	0	0	0	1	0
L-A77	370	97	3	0	0	0	0	1	0
L-A78	360	94	6	0	0	0	0	2	0
L-A79	360	97	3	0	0	0	0	1	0
L-A80	380	89	11	0	0	0	0	2	0

注) 潜水目視観察は幅10m、距離10mもしくは30mの枠を1単位として実施しており、潜水目視観察による被度区分別頻度は、各測線における被度区分ごとの観察枠の出現頻度(%)を示しています。なお、ROV調査実施位置(水深20m以深の範囲)におけるホンダワラ藻場の被度は、いずれも5%未満でした。

《ライン調査位置》

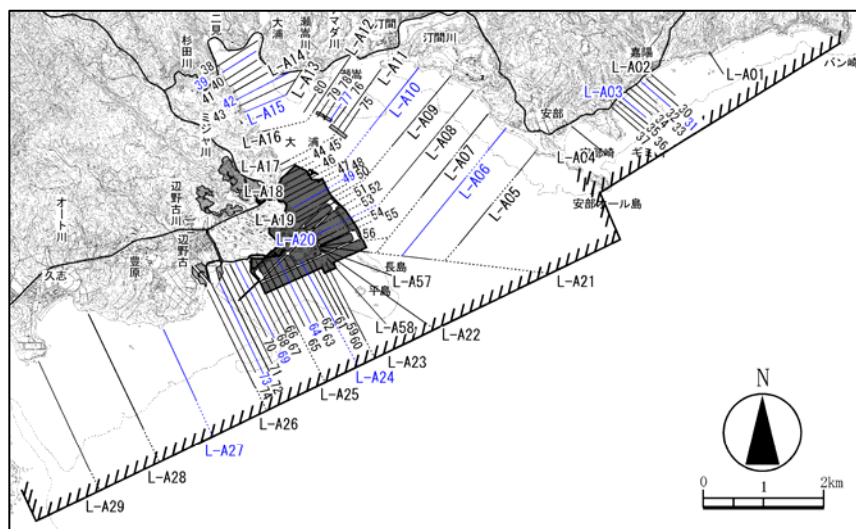


表-6.15.1.17 ライン調査における海藻草類の出現種一覧  
(平成20年度)

【夏季】

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

No.	科	種名	出現 測線数
1	ベニアマモ科	ニラウミジグサ	42
2		ウミジグサ属	65
3		ベニアマモ	29
4		リュウキュウアマモ	31
5		ボウバアマモ	39
6	トチカガミ科	リュウキュウスガモ	48
7		ウミヒルモ	54
8		オオウミヒルモ	47
9		ウミヒルモ属	30
10	ホンダワラ科	ヤバネモク	58
11		フタエモク	4
12		ヒメハモク	3
13		カラクサモク	1
14		コバモク	2
15		タマキレバモク	8
16		チュラシマモク	1
17		ホンダワラ属	76
18		カサモク	1
19		ラッパモク	74
20		ラッパモク属	1
21	その他	小型藻類	80

【冬季】

調査時期：平成20年12月1日～平成21年1月31日

No.	科	種名	出現 測線数
1	ベニアマモ科	ニラウミジグサ	57
2		ウミジグサ属	71
3		ベニアマモ	51
4		リュウキュウアマモ	50
5		ボウバアマモ	54
6	トチカガミ科	リュウキュウスガモ	64
7		ウミヒルモ	62
8		オオウミヒルモ	53
9		ウミヒルモ属	44
10	ホンダワラ科	ヤバネモク	66
11		コバモク	2
12		ホンダワラ属	73
13		カサモク	1
14		ラッパモク	70
15	その他	カサノリ	57
16		小型藻類	56



表-6.15.1.18 海藻草類のライン上スポット調査結果概要（平成20年度）

調査時期：平成20年7月3日～9月4日（夏季）

平成20年12月1日～平成21年1月31日（冬季）

項目	区分	夏季		冬季	
		調査地点数	全70地点に占める割合(%)	調査地点数	全81地点に占める割合(%)
海藻草類の被度	0%	1	1.4	1	1.2
	5%未満	8	11.4	11	13.6
	5～25%	13	18.6	22	27.2
	25～50%	22	31.4	26	32.1
	50～75%	19	27.1	16	19.8
	75%以上	7	10.0	5	6.2
海藻草類の出現種類数	0種類	0	0.0	0	0.0
	1～4種類	6	8.6	4	4.9
	5～9種類	2	2.9	6	7.4
	10～19種類	13	18.6	5	6.2
	20種類以上	49	70.0	66	81.5
海草藻場の被度	0%	29	41.4	23	28.4
	5%未満	14	20.0	33	40.7
	5～25%	16	22.9	11	13.6
	25～50%	7	10.0	8	9.9
	50～75%	4	5.7	4	4.9
	75%以上	0	0.0	2	2.5
海草藻場構成種の出現種類数	0種類	16	22.9	23	28.4
	1～2種類	30	42.9	38	46.9
	3～4種類	15	21.4	12	14.8
	5～6種類	8	11.4	8	9.9
	7～8種類	1	1.4	0	0.0
ホンダワラ藻場の被度	0%	19	27.1	29	35.8
	5%未満	29	41.4	34	42.0
	5～25%	12	17.1	15	18.5
	25～50%	7	10.0	3	3.7
	50～75%	3	4.3	0	0.0
	75%以上	0	0.0	0	0.0
ホンダワラ藻場構成種の出現種類数	0種類	19	27.1	41	50.6
	1～2種類	26	37.1	33	40.7
	3～4種類	21	30.0	7	8.6
	5～6種類	4	5.7	0	0.0
海草上の浮泥の堆積状況	無	14	20.0	15	18.5
	少	17	24.3	22	27.2
	多	14	20.0	20	24.7
海草上の付着藻類の状況	無	6	8.6	11	13.6
	少	23	32.9	27	33.3
	多	16	22.9	19	23.5

注) 浮泥、付着藻類の「無」は海草類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。

表-6.15.1.19 海藻草類のライン上スポット調査結果 (平成20年度、夏季)

調査時期：平成20年7月3日～9月4日

No.	門	綱	目	科	和名	出現地点数	No.	門	綱	目	科	和名	出現地点数	
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	ユレモ科	1	61	緑色植物	緑藻	ヒビミドロ	ランソウモドキ	ランソウモドキ科	1	
2			-	-	藍藻綱	61	62			アオサ	アオサ	アオノリ属	2	
3	紅色植物	紅藻	ウミノウメン	ガラガラ	ソデガラム	40	63					アオサ属	1	
4					ヒラガラガラ属	26	64			シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	18	
5					ガラガラ属	13	65					ウキオリソウ属	1	
6					コナハダ	2	66					アミモヨウ	1	
7					ウミノウメン	3	67					タノモツサ	1	
8					ヌルハダ	1	68					アミモヨウ属	8	
9					サンゴモ	6	69					シオグサ	21	
10					ホソエダカニノテ	5	70			ミドリゲ	シオグサ	アオモクサ	7	
11					カニノテ属	5	71					マゴタマモ	2	
12					モサズキ属	41	72					マゴタマモ	2	
13					イシノハナ	6	73					キツネノオ	2	
14					サビ亜科 (無節サンゴモ類)	59	74					キッコウグサ	33	
15					テングサ	11	75					ムクキッコウグサ	32	
16					テングサ	1	76					キッコウグサ属	6	
17					スギノリ	19	77					パロニア属	8	
18					リュウモンソウ	1	78					オオパロニア	7	
19					イバラノリ	18	79			イワズタ	イワズタ	ヘライワズタ	2	
20					イワノカワ	53	80					ビヤクンズタ	19	
21					-	スギノリ目	5	81				クビズタ	8	
22					オゴノリ	2	82					センナリズタ	17	
23					オゴノリ	7	83					ヒラエズタ	3	
24					ワツナギソウ	1	84					タカツキズタ	3	
25					ワツナギソウ	3	85					サイハイズタ	8	
26					フシツナギ	38	86					ヨレズタ	38	
27					カイメンソウ	30	87					タカノハズタ	19	
28					テングサモドキ属	1	88					タカノハズタ	4	
29					マサゴシバリ	1	89					イチズタ	2	
30					ニセイバラノリ	1	90					コケイワズタ	2	
31					イギス	2	91					カサノリ	3	
32					イギス	29	92					マルバハウチワ	1	
33					ウブダクサ	1	93					ハウチワ属	11	
34					イギス科	5	94					マユハキモ	3	
35					フジマツモ	16	95					ウチワサボテングサ	16	
36					トゲノリ	10	96					ミツデサボテングサ	12	
37					キクヒオドシ	39	97					ヒロハサボテングサ	2	
38					ヤナギノリ属	31	98					サボテングサ	22	
39					マクリ	8	99					フササボテングサ	2	
40					ソノ属	1	100					サボテングサ属	23	
41	不等毛植物	褐藻	クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	11	101					ヒメイチヨウ	32	
42			アマシグサ	アマシグサ	ウラボシヤハズ	19	102					ハゴロモ	13	
43					イトアミジ	4	103					ミル	5	
44					アマシグサ属	57	104					ナンバンハイミル	1	
45					ハイオオキ	53	105					モツレミル	16	
46					ウスバウミウチワ	8	106					カサノリ	2	
47					ウカバウミウチワ	8	107					ダジクラズ	2	
48					ウスユキウチワ	45	108						ナガミズタ	43
49					ウミウチワ属	11	109						ミズタ	5
50					シガミダクサ	10	110						ウスウササ	5
51					シガミダクサ属	12	111						フデノホ	61
52					ナガマツモ	9	112						リュウキユウガサ	27
53					カキモノリ	1	113					カサノリ	10	
54					ヒバマタ	25	114					ハナレガサ	3	
55					ヤバネモク	1	115					ホシガタカサノリ	1	
56					アツバモク	12	116					ヒナカサノリ	4	
57					ヒメハモク	1	117					イノスキノ	23	
58					タマキレバモク	26	118					リュウキユウスガモ	29	
59					ホンダワラ属	39	119					ウミヒルモ	21	
60					ラッパモク	28	120					オオウミヒルモ	6	
							121					ホソウミヒルモ	3	
							122					トゲウミヒルモ	2	
							123					ニラウミジグサ	10	
							124					マツバウミジグサ	2	
							125					ウミジグサ属	22	
												ベニアマモ	3	
												リュウキユウアマモ	9	
												ボウバアマモ	15	

表-6. 15. 1. 20 海藻草類のライン上スポット調査結果 (平成 20 年度、冬季)

調査時期：平成 20 年 12 月 1 日～平成 21 年 1 月 31 日

No.	門	綱	目	科	和名	出現地点数	No.	門	綱	目	科	和名	出現地点数
1	藍色植物	藍藻	ユレモ	ユレモ	<i>Lyngbya</i> 属	1	87	緑色植物	緑藻	アオサ	アオサ	アオノリ属	2
2					ユレモ科	5	88					アオサ属	2
3					藍藻綱	71	89					アオサ科	2
4	紅色植物	紅藻	ウミゾウメン	ガラガラ	ソデガラミ	36	90			シオグサ	ウキオリソウ	ウキオリソウ	35
5					フロコガラガラ	2	91					ウキオリソウ属	2
6					ヒラガラガラ属	26	92					アミモヨウ	4
7					ピロウドガラガラ属	9	93					タノモグサ	8
8					ジュズフサノリ	2	94					アミモヨウ属	4
9					ガラガラ	7	95			シオグサ	シオグサ属	シオグサ属	35
10					ガラガラ属	6	96			ミドリゲ	アオモグサ	アオモグサ	27
11				コナハダ	コナハダ属	6	97				マガタマモ	マガタマモ	4
12			サンゴモ	サンゴモ	ホソエダカニノテ	4	98				パロニア	キッコウグサ	38
13					カニノテ属	6	99					ムクキッコウグサ	27
14					ヒメモサズキ	3	100					パロニア属	6
15					モサズキ属	46	101					オオパロニア	7
16				ハバリデウム	サビ亜科 (無節サンゴモ類)	63	102			イワズタ	イワズタ	ハライワズタ	4
17				テングサ	シマテングサ	16	103					ビャクシズタ	9
18					テングサ属	2	104					クビレズタ	12
19					オバクサ	1	105					スズカケズタ	2
20					テングサ科	17	106					センナリズタ	15
21			スギノリ	リュウモンソウ	ヒピロウド	5	107					ヒラエズタ	3
22					エツキヒピロウド	6	108					タカツキズタ	1
23				イバラノリ	イバラノリ属	38	109					サイハイズタ	10
24				ヒカゲノイト	ユルジギス属	1	110					ヨレズタ	35
25				イワノカワ	エツキイワノカワ	4	111					タカノハズタ	10
26					イワノカワ科	54	112					キザミズタ	1
27					スギノリ目	4	113					イチイズタ	6
28				オゴノリ	ユミガタオゴノリ	1	114					コケイワズタ	1
29					フシクレノリ	4	115					リュウキュウズタ	5
30					オゴノリ属	25	116					イワズタ属	3
31			マサゴシバリ	ワツナギソウ	ワツナギソウ	2	117			ハゴロモ	コテングノハウチワ	4	
32					ワツナギソウ属	3	118				ハウチワ属	11	
33				フシツナギ	カイメンソウ	49	119				マユハキモ	5	
34					テングサモドキ属	35	120				ワチワサボテングサ	21	
35			イギス	イギス	イギス属	2	121				ミツデサボテングサ	15	
36					ヨツノサデ属	5	122				ヒロハサボテングサ	2	
37					ベニゴウシ	3	123				サボテングサ	9	
38					ウブゲグサ	3	124				フササボテングサ	4	
39					ランゲリア	9	125				サボテングサ属	40	
40					イギス科	37	126				ニセハウチワ属	3	
41				ダジア	ダジア属	4	127				ヒメイチョウ	21	
42					ダジア科	10	128				ハゴロモ	12	
43				コノハノリ	カラゴロモ	4	129			ミル	ナンパンハイミル	1	
44					コノハノリ科	4	130				モツレミル	1	
45					トゲノリ	19	131				ミル属	11	
46					キクヒオドシ	21	132			ハネモ	カタハノハネモ	1	
47					キナギノリ属	19	133				ハネモ属	5	
48					マクリ	37	134			カサノリ	ナガミズタマ	5	
49					クモノスヒメゴケ	1	135				ミズタマ	45	
50					ヒメゴケ属	4	136				ウスガサネ	13	
51					ソソノハナ	1	137				フデノホ	66	
52					ナンカイソウ	5	138			カサノリ	ホソエガサ	8	
53					ソソ属	28	139				リュウキュウガサ	41	
54					ジャバラノリ	8	140				カサノリ	27	
55					イトグサ属	18	141				ハナレガサ	2	
56					イトクズグサ	16	142				ヒナカサノリ	4	
57					フジマツモ科	9	143				イソスギナ	13	
58					紅藻綱	29	144					緑藻綱	4
59	不等毛植物	褐藻	シオミドロ	シオミドロ	シオミドロ科	4	145	種子植物	単子葉植物	オモダカ	トチカガミ	リュウキュウスガモ	27
60			クロガシラ	クロガシラ	クロガシラ属	5	146					ウミヒルモ	26
61			アマミジグサ	アマミジグサ	ウラボシヤハズ	27	147					オオウミヒルモ	9
62					ヤハズグサ属	1	148					ホソウミヒルモ	2
63					イトアミジ	10	149					トゲウミヒルモ	12
64					アマミジグサ属	57	151					ウミヒルモ属	1
65					ハイオオギ	57	152			ベニアマモ	ニラウミジグサ	7	
66					ウスバウミウチワ	5	153				マツバウミジグサ	9	
67					アカバウミウチワ	16	154				ウミジグサ属	24	
68					ウスユキウチワ	41	155				ベニアマモ	3	
69					ウミウチワ属	26	156				リュウキュウアマモ	8	
70					ジガミグサ	15	157				ボウバアマモ	8	
71					ジガミグサ属	10							
72					シマオオギ	1							
73					エツキシマオオギ	1							
74					シマオオギ属	2							
75			ナガマツモ	ナガマツモ	オキナワモズク	15							
76			カヤモノリ	カヤモノリ	フクロノリ	2							
77					カゴメノリ	2							
78					モサクダフクロ	7							
79			ヒバマタ	ホンダワラ	ヤバネモク	30							
80					アツバモク	1							
81					フタエモク	2							
82					コバモク	1							
83					タマキレバモク	15							
84					ホンダワラ属	31							
85					ラッパモク	16							
86	黄緑藻	フシナシミドロ	フシナシミドロ	ウミフシナシミドロ		2							

表-6. 15. 1. 21(1) ライン調査における海草上の浮泥の堆積状況及び付着藻類の状況

調査時期：平成20年7月3日～9月4日（夏季）  
平成20年12月1日～平成21年1月31日（冬季）

調査側線	浮泥(頻度)						付着藻類(頻度)					
	夏季			冬季			夏季			冬季		
	無	少	多	無	少	多	無	少	多	無	少	多
L-A1	93	7	0	100	0	0	13	87	0	0	100	0
L-A2	100	0	0	89	11	0	0	100	0	0	33	67
L-A3	100	0	0	45	55	0	0	100	0	14	69	17
L-A4	100	0	0	0	69	31	0	4	96	0	51	49
L-A5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-A6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
L-A7	75	25	0	-	-	-	100	0	0	-	-	-
L-A8	100	0	0	0	100	0	100	0	0	0	57	43
L-A9	0	100	0	0	8	92	0	100	0	0	28	72
L-A10	77	23	0	0	55	45	0	100	0	0	55	45
L-A11	44	56	0	53	47	0	56	44	0	0	47	53
L-A12	0	100	0	63	38	0	0	43	57	0	38	63
L-A13	100	0	0	100	0	0	0	51	49	48	42	10
L-A14	12	29	59	0	13	87	18	55	27	0	37	63
L-A15	86	14	0	0	78	22	0	100	0	0	56	44
L-A16	9	36	55	0	40	60	9	73	18	0	100	0
L-A17	-	-	-	0	100	0	-	-	-	0	100	0
L-A18	69	31	0	-	-	-	0	94	6	-	-	-
L-A19	0	100	0	62	38	0	0	100	0	14	81	5
L-A20	0	44	56	0	50	50	0	50	50	0	50	50
L-A21	23	77	0	0	100	0	23	77	0	0	92	8
L-A22	100	0	0	100	0	0	0	100	0	0	100	0
L-A23	0	100	0	0	100	0	0	100	0	0	100	0
L-A24	13	87	0	8	67	24	6	77	17	0	24	76
L-A25	65	35	0	0	94	6	22	72	6	0	82	18
L-A26	67	33	0	39	59	3	16	33	51	0	75	25
L-A27	29	71	0	15	85	0	29	59	12	0	73	27
L-A28	66	33	1	22	78	0	6	78	15	0	21	79
L-A29	32	68	0	47	51	3	0	92	8	0	86	14
L-A30	31	62	7	100	0	0	0	45	55	0	100	0
L-A31	0	100	0	33	67	0	0	100	0	7	73	20
L-A32	100	0	0	100	0	0	19	0	81	33	58	8
L-A33	100	0	0	89	11	0	4	0	96	26	33	41
L-A34	100	0	0	97	3	0	0	0	100	67	23	10
L-A35	100	0	0	100	0	0	0	0	100	88	12	0
L-A36	0	75	25	39	56	6	0	96	4	28	61	11
L-A37	100	0	0	96	4	0	0	28	72	50	50	0
L-A38	100	0	0	71	14	14	5	11	84	52	48	0
L-A39	0	0	100	3	81	16	19	44	37	59	41	0
L-A40	27	73	0	20	46	34	2	6	92	20	44	37

- 注) 1. 浮泥、付着藻類の「無」は海草類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。
2. 潜水目視観察（幅10m、距離10mの枠を1単位として実施）により確認された海草上における、浮泥の堆積及び付着藻類の程度別の観察枠（単位）の頻度で示しています。
3. 「-」は観察対象となる海草類の出現がなかったことを示しています。

《ライン調査位置》

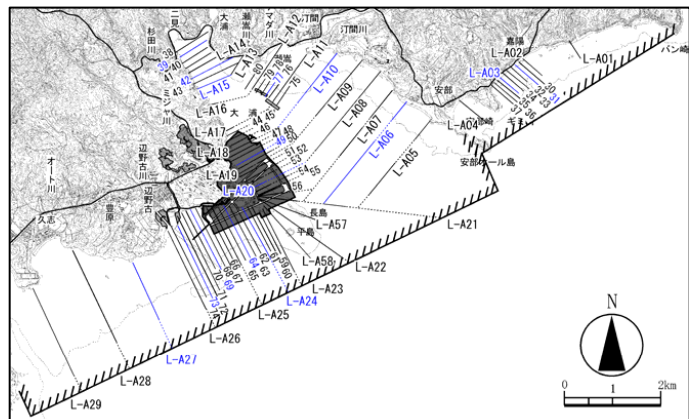


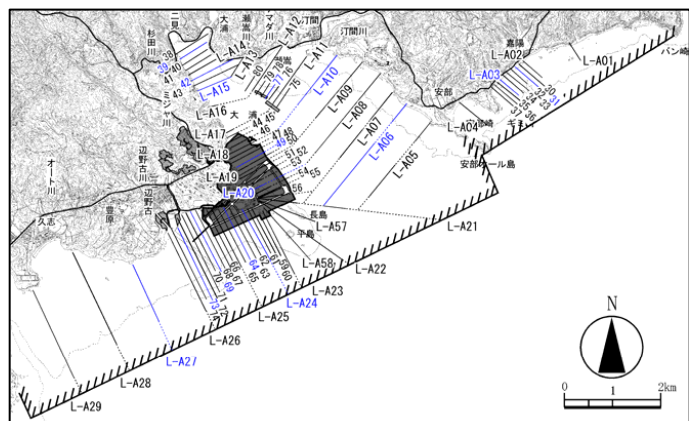
表-6. 15. 1. 21(2) ライン調査における海草上の浮泥の堆積状況及び付着藻類の状況

調査時期：平成20年7月3日～9月4日（夏季）  
平成20年12月1日～平成21年1月31日（冬季）

調査側線	浮泥(頻度)						付着藻類(頻度)					
	夏季			冬季			夏季			冬季		
	無	少	多	無	少	多	無	少	多	無	少	多
L-A41	74	26	0	47	41	12	0	11	89	18	82	0
L-A42	11	68	21	6	48	46	0	0	100	0	31	69
L-A43	43	55	2	0	31	69	0	0	100	0	31	69
L-A44	53	47	0	0	100	0	0	0	100	0	0	100
L-A45	82	18	0	0	71	29	0	0	100	0	0	100
L-A46	82	18	0	0	93	7	0	0	100	0	0	100
L-A47	0	100	0	100	0	0	0	0	100	100	0	0
L-A48	73	27	0	33	67	0	0	9	91	33	0	67
L-A49	0	75	25	0	30	70	0	5	95	0	22	78
L-A50	13	88	0	0	40	60	0	0	100	0	0	100
L-A51	54	46	0	67	33	0	0	0	100	67	0	33
L-A52	86	14	0	29	26	44	0	0	100	29	0	71
L-A53	22	78	0	58	8	33	0	61	39	50	0	50
L-A54	93	7	0	50	13	38	0	7	93	13	0	88
L-A55	100	0	0	46	54	0	0	6	94	15	23	62
L-A56	100	0	0	42	58	0	0	0	100	25	0	75
L-A57	0	100	0	0	0	100	0	0	100	0	0	100
L-A58	0	100	0	100	0	0	0	100	0	0	100	0
L-A59	38	62	0	3	97	0	0	4	96	0	76	24
L-A60	50	50	0	37	60	4	0	11	89	0	88	12
L-A61	0	100	0	29	71	0	3	76	21	0	55	45
L-A62	90	10	0	10	79	12	0	80	20	0	67	33
L-A63	50	50	0	98	2	0	0	55	45	9	70	21
L-A64	100	0	0	0	100	0	0	14	86	0	54	46
L-A65	11	89	0	16	84	0	0	75	25	3	45	52
L-A66	63	37	0	67	33	0	0	84	16	0	39	61
L-A67	49	51	0	70	23	7	16	0	84	14	32	54
L-A68	25	57	18	62	38	0	0	20	80	18	46	37
L-A69	45	55	0	30	62	9	45	55	0	3	68	29
L-A70	53	47	0	36	64	0	53	47	0	1	39	60
L-A71	27	73	0	0	78	22	15	31	54	0	58	42
L-A72	96	4	0	62	38	0	11	7	82	28	52	20
L-A73	41	59	0	27	55	18	0	82	18	0	44	56
L-A74	89	11	0	95	5	0	63	29	8	27	62	11
L-A75	48	52	0	66	7	28	0	0	100	24	34	41
L-A76	86	14	0	93	0	7	0	43	57	43	21	36
L-A77	7	7	87	65	35	0	7	7	87	12	88	0
L-A78	79	21	0	87	0	13	0	57	43	47	47	7
L-A79	74	26	0	100	0	0	0	26	74	68	32	0
L-A80	86	14	0	100	0	0	9	9	82	68	32	0

- 注) 1. 浮泥、付着藻類の「無」は海草類の葉上に泥や藻類の付着がなかったことを示し、「少」は部分的に付着していたことを示し、「多」は全体的に付着していたことを示しています。
2. 潜水目視観察（幅10m、距離10mの枠を1単位として実施）により確認された海草上における、浮泥の堆積及び付着藻類の程度別の観察枠（単位）の頻度で示しています。
3. 「-」は観察対象となる海草類の出現がなかったことを示しています。

《ライン調査位置》



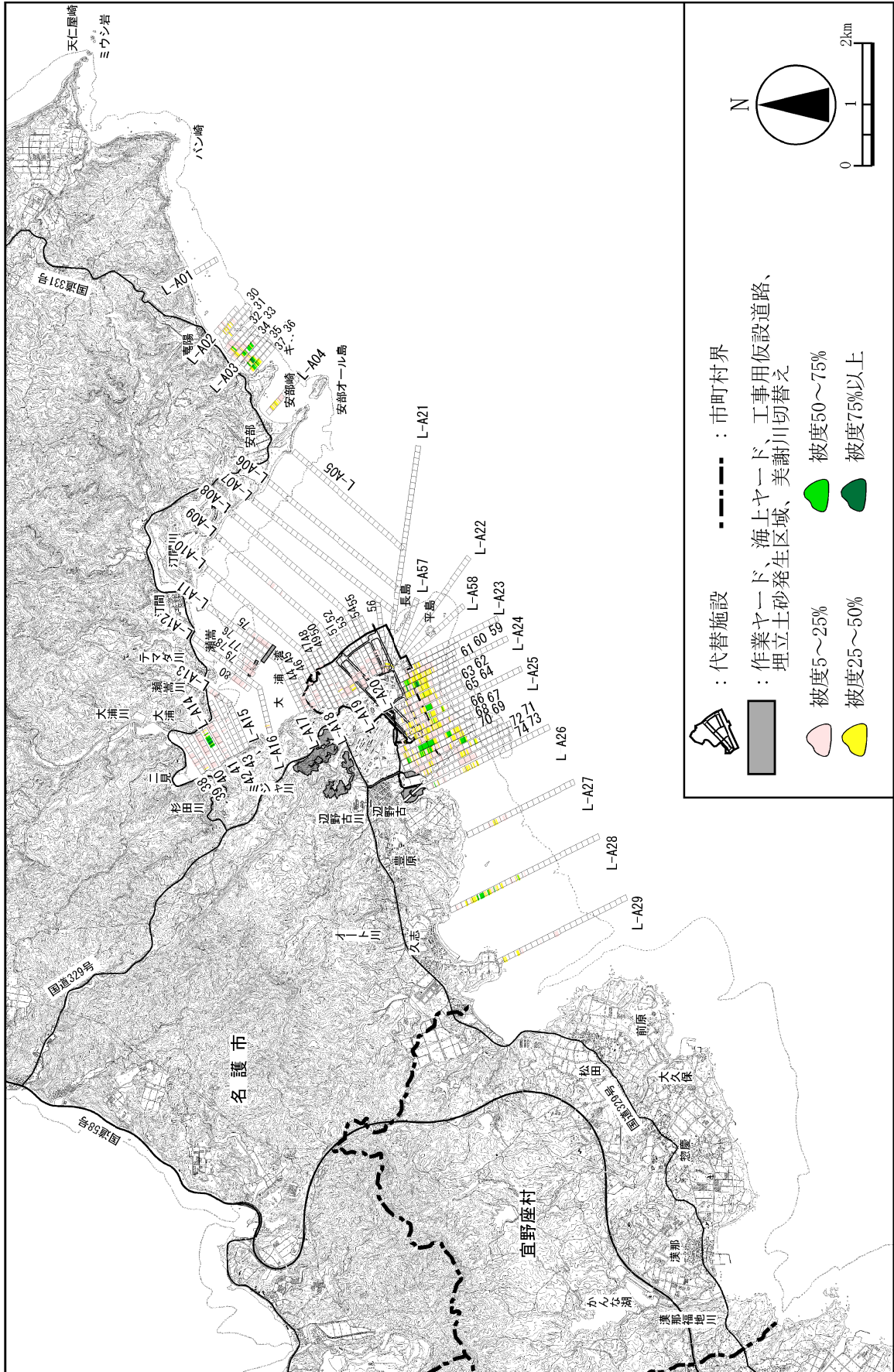


図-6.15.1.24(1) 各測線における海藻藻場の被度状況（平成20年度、夏季）

